

作文の部 一席 田中 加純

河川のために考えること

みなさんは、今、河川がきたなくなっていることを知っていますか。

私は、河川でも身近な河川に目を向けてもらいたいと考えています。

まずは、河川がきたないとうなるかを考えてもらいたいです。私は、もがわいたり、悪臭がしたり、いきものが住みにくくなったりすると、町の景観や環境にも影響がでる恐れがあります。と考えました。

私の身近な河川、二ツ川には、貴重ないきものがたくさんいます。例えば、ニセマツカサガイやセボシタビラなどです。これらのいきものは、河川改修や水質汚染、外来種の影響などにより、生息数が減少しており、保護が求められたため、絶滅危惧種に登録されています。

私は、四年生の時に、学校で、二ツ川へいきものの採集へ行きました。

そのときは、二ツ川に、たくさんもがわいていたり、川の中にゴミが入っていたりしたので、二ツ川の近くの用水路で採集しました。

私は、採集の後、先生に話を聞くと、去年も同じ場所でしたそうですが、去年より約十倍きとれた量が少なかったそうです。そして去年より、もやゴミが多かったと聞きました。

このことから、私は、河川にもやゴミが多いことが魚にとって住みにくくなったりえさがなくなっている原因なのかと考えました。

どうなれば、魚が住みやすくなるのでしょうか。

私は、河川がきれいになり、少し人間の手を加えてあげれば、魚や他のいきものも住みやすくなるのではないかと考えました。

私は、河川を守るために、地域のせいそう運動に参加したり、自分でゴミひろいをしていてもいいかな。と考えました。

河川は、とても貴重です。そんな貴重な河川のために、今、私たちがなにができるかをいっしょに考えてみませんか。